

BizRobo!シリーズの新サービス「BizRobo! AI Apps」と 「Robot Analyzer」を提供開始 ～RPA運用の効率化をAI活用／構造解析で支援～

オープングループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高橋 知道）の子会社であるオープン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：石井 岳之、以下「オープン」）は、BizRobo!シリーズの新サービスとして「BizRobo! AI Apps」と「Robot Analyzer」の提供を2026年2月18日（水）に開始したことをお知らせいたします。

「BizRobo! AI Apps」および「Robot Analyzer」は、ロボットの内容を解析、見える化し、運用を効率化することを目指して開発しました。特に運用過程で発生する以下のような課題に対して、これらのサービスを活用することで、ユーザーの皆様の作業を最小限に抑え、属人化の防止やRPAの持続的な最適化を実現することを目指します。

<運用過程で発生する課題>

- 稼働しているロボットの数が多すぎる
- ロボットの内容が複雑なためメンテナンス工数が膨大になる
- 誰がどのロボットを管理しているのか不明瞭
- ロボット修正時の影響範囲が特定できない
- ロボットの修正スキルの習得に時間がかかる

■BizRobo! AI Appsの特長

BizRobo! AI Appsは、AIを活用してRPAの運用・管理を支援するサービスです。AIがRPAの運用負荷を軽減し、導入効果の最大化を目指します。

サービスサイト：<https://rpa-technologies.com/ai-apps/>

1. ロボットをAIで解析して実装内容を可視化、 設計書として保存し運用に活用

ロボットがどのような目的で作成され、どういった動作を行うかを確認するために、従来はDesign Studioを用いてロボットを直接確認する必要がありました。

AI Appsではロボットファイルをアップロードするだけで、AIが内容を解析して人が



【報道関係お問い合わせ先】

オープン株式会社 広報担当：高橋 亜希子

Mail：pr.biz@open.co.jp

読み取りやすいように言語化、構造化して見える化します。このデータには運用に必要な属性情報も登録できるため、ロボットの設計書としてはもちろん、ブラックボックス化予防や運用効率向上など、様々な場面で活用することができます。

2. **ロボットが連携する外部ファイル、サービスを一元管理し、仕様変更等の影響範囲を特定**
解析時に、ロボットと連携する外部ファイルやサービスなどを AI が検出し、他のロボットを含めて BizRobo!全体を管理する連携システムの一覧データを作成、蓄積します。これにより、ファイル項目やレイアウトの変更、WEB システムの UI 変更など、ロボットの稼働に影響を与える可能性がある領域を素早く特定し、早期対応に役立てることができます。
3. **業務全体を可視化し、自動化できていない業務領域の特定と次のアクション決定をサポート**
AI Apps 上で、現場で行われている業務をフロー形式で自由に作成、編集することができ、フローのひとつひとつをタスクとして可視化することができます。またタスクに対してロボットを紐づけることで、業務全体の自動化有無を一目で判別することが可能です。
4. **チャットによるロボットひな形作成で、開発を効率化**
ロボットとして実装したい業務を、チャット形式で AI とやりとりしながらロボットを作成することができます。ロボットの細かいステップを最初から実装するのではなく、人が理解しやすいよう、フローの合間に大まかな業務のブロックを作成することにより、人と AI が協力しながらロボットを作成することが可能です。



■Robot Analyzer の特長

Robot Analyzer は、サービス画面上にロボットファイルをドロップするだけで、ロボットの構造や動作を解析し、可視化するサービスです。ロボットの全体像の把握や、ステップの種類、ステップ内の設定まであらゆる情報を明らかにし、本番稼働前のチェックや棚卸、定期点検等を支援します。これにより開発・運用・管理の工数削減に寄与します。

1. **ロボット構造を解析し、全体のステップ数やその種類など、あらゆる情報を可視化**
Robot Analyzer でロボットを解析すると、ロボットが何ステップあるのか、そしてどのようなステップが使用されているのか、変数や外部連携はどこで利用されているのかといった、人の手では調査に時間を要する項目を瞬時に分析することができます。
2. **開発ルール準拠を客観的に判定し、品質の均一化と保守性向上を実現**
分析したロボットの情報を、現場でロボットを開発する際のルール作りや、開発標準の策定・運

【報道関係お問い合わせ先】

オープン株式会社 広報担当：高橋 亜希子

Mail : pr.biz@open.co.jp

用に活用することができます。開発ルールを設けることで、ロボットの品質保持はもちろん、開発初心者にもその手順を明示するための仕組み作りも可能です。

3. 解析結果を台帳出力し、資産管理を効率化

ロボットの解析には BizRobo! から取得したバックアップファイルをそのまま用いることが可能です。ロボットが複数の組織・チームで開発・運用されていたとしても、一元的に解析を行い、結果を CSV 形式でエクスポートすることができます。このデータは組織全体としての運用傾向確認や、品質向上のヒントとして活用できます。



■BizRobo! AI Apps および Robot Analyzer の利用方法

- **BizRobo! AI Apps**

費用：有償

利用方法：担当営業までお知らせください。

サービス利用に必要な情報をヒアリングのうえ、アカウントを作成いたします。

- **Robot Analyzer**

費用：無償

利用方法：[アカウント申請ページ](#)よりお申し込みください。

今後もユーザーの皆様の利便性向上を目的として、「BizRobo! AI Apps」と「Robot Analyzer」の新機能開発や統合プラットフォームの提供を計画しております。引き続き開発現場の声をキャッチアップしながら、ビジネス変革の一助となれますよう伴走支援を継続してまいります。

【会社概要】

■オープン株式会社 (<https://open.co.jp/>)

- ・本社所在地：東京都港区西新橋 3-3-1 KDX 西新橋ビル 3 階
- ・設立：2013 年 7 月
- ・代表者：代表取締役執行役員社長 石井 岳之
- ・資本金：3,000 万円
- ・事業内容：スマートロボット（RPA、AI）を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業、アウトソーシング事業、デジタルマーケティング、オンライン広告事業

【報道関係お問い合わせ先】

オープン株式会社 広報担当：高橋 亜希子

Mail：pr.biz@open.co.jp